

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

4 月号 No.208

発行／熊本県農業者政治連盟

JA熊本県会館内 熊本市南千反畑町2-3

電話 096-328-1284

編集責任者 木村 幸孝

発行／毎月1回 15日発行

平成9年7月4日第三種郵便物許可



天草・牛深ハイヤ祭り

天草の春を彩る一大イベント。航海の無事を祈願し、ハイヤのリズムで老若男女が町中を踊り歩く総踊りや農水産フェア、船団パレードなどの催しがあり、県内外からの観光客でにぎわう。「ハイヤ」は「南の風」(八工)の意味。

主な内容

- ・ 県議選・当選者決まる
- ・ 参議選の取組み状況 (その2)
- ・ 農政連総支部だより：玉名総支部
- ・ ガンバッテいます：野中育代さん 高濱友章さん
- ・ 各連合会よりのお知らせ

せせらぎ

プロ野球が開幕した。王監督率いるソフトバンクの活躍が期待され、アメリカではレッドソックスの松坂選手活躍が大きな話題となっている。ファンにとっては、楽しみな季節の到来である。

三月九日、西武ライオンズの太田球団社長は、利益供与が禁止されているスカウト活動において、アマチュア選手二名に対し栄養費名目で、一千万を越す裏金を渡していたことを明らかにした。この報道は、スポーツファンのみならず大変な衝撃であった。後日、このうちの一人の早大生の記者会見が行われた。

「いけないと分かったが、早大や親に迷惑をかけたくなかったので、受け取った。」と金銭の授受を認めただうえで、「助けよとしている人を裏切ることには耐えられなくなった。ずっと本当のことを言いたかった。」

ときおり唇をかみ締めて、淡々と話す姿は痛ましかった。早大は、この学生を野球部の退部処分とした。

金を貰った二十一歳の学生が悪いのは当たり前だ。しかし、球団の論理を振りかざし、このような不正を進め、学生の一生を台無しにした大人たちは、絶対に許されない。

このほかにも、西武球団は、一九七八年から、二十七年間にわたり百七十人に総額一億円を越す金銭を渡していたことが明らかになった。

日本プロ野球組織機構(NPB)の根来コミッションナー代行は、アマチュア選手に対する不明朗な金銭授受の温床と指摘されたドラフト希望入団枠を今秋から廃止することを発表した。

今、球界関係者に求められているのは、球場の外のフェアプレーである。

祝 当選

熊本県議会議員選挙

熊本県議会議員選挙の投票が四月八日に行われ、無投票当選を含め農政連公認・推薦候補十八名の当選が決まりました。今後の県政における活躍を期待いたします。

公認



児玉文雄

選挙区
上益城郡区
当選回数
自民⑦

公認



前川 収

選挙区
菊池市区
当選回数
自民⑤

公認



村上寅美

選挙区
熊本市区
当選回数
自民⑥

推薦



重村 栄

選挙区
荒尾市区
当選回数
自民②

推薦



井手順雄

選挙区
熊本市区
当選回数
自民③

推薦



馬場成志

選挙区
熊本市区
当選回数
自民④

公認



松村 昭

選挙区
球磨郡区
当選回数
自民⑥

公認



山本秀久

選挙区
芦北郡区
当選回数
自民⑧

推薦



田代國廣

選挙区
菊池郡区
当選回数
自民①

推薦



荒木義行

選挙区
合志市区
当選回数
自民④

推薦



早川英明

選挙区
鹿本郡区
当選回数
自民④

推薦



浦田祐三子

選挙区
玉名市区
当選回数
自民①

推薦



森 浩二

選挙区
玉名市区
当選回数
自民②

推薦



溝口幸治

選挙区
人吉市区
当選回数
自民②

推薦



松田三郎

選挙区
球磨郡区
当選回数
自民③

推薦



小早川宗弘

選挙区
八代市・八代郡区
当選回数
自民②

推薦



中村博生

選挙区
八代市・八代郡区
当選回数
自民③

推薦



九谷弘一

選挙区
宇土市区
当選回数
自民②

「天草地区」農水林政 推進対策本部設置

農政連天草総支部は、三月二十二日、天草地区農水産業団体会議（構成二十二団体）をJA本渡五和ホールにて開催し、今夏の参議院選に向けて農水林政推進対策本部を設置した。

はじめに、武部満農政連総支部長（JAあまくさ組合長）が、「WTO、EPA交渉が本格化する中、交渉の結果次第では天草の畜産等に多大な影響を及ぼす。また、漁業においても不振が続いており、一次産業を取り巻く環境は厳しいものがある。



天草地区農水林政推進対策本部設置

今回の参議選候補者 三浦議員は、四十一才の初当選から農水産業の振興に尽力をいただいている。

ついては、再度我々の代表として国会に送り出すために、一致団結した支援をお願いしたい。」と挨拶し、設置要領や今後の進め方等について協議した。

最後に、岩下十二男（天草地域森林組合長）が、「地域振興と組合員のために、夏に向けて運動を起こそう。」と確認した。

「三浦はがんばります」

平成十九年度からはじまる品目横断的経営安定対策等新たな農業政策は、戦後農政の大転換期である。

一方、本格的に再会されたWTO農業交渉は、米国の貿易促進期限（TPA）の交渉期限（六月末）を前に二国間協議が行われ、米国の動向次第では、交渉が大きく進展する可能性が高くなる。

さらに、豪州を含むEPA交渉については、わが国の重要な農畜産物の関税を撤廃した場合、農業だけでなく、地域経済に甚大な影響を及ぼすことは確実である。

このような中、三浦参議院議員は「安全」「安心」に満たぬさと熊本の創造を目指し、次の主要項目に取組んでいく。



農業公園植木まつり 出店者、生産者等を激励



玉名地区総支部国政報告会(約250名出席)

- WTO農業交渉における日本提案の実現
 - 安全で安心な食料自給体制の確立
 - 福祉政策の充実と地域社会の活性化
- この取組を実現するためには、来る

七月二十二日の参議院議員選挙において、前農水産副大臣で、全国有数の農政通である三浦参議を、農水産業の代表として、我々の力で押し上げる必要がある。

食と農から広げよう いのちの政(まつり)!

現在、WTO農業交渉や品目横断的経営対策など、わが国の農業とJAは、大きな転換期を迎えている。

また、安全な食料の安定供給や農業・農村への国民の理解と期待も確実に高まっている。

このような、大きな時代の転換期であるがゆえに、今まで以上に農業者とJA関係者一人ひとりの声を反映させていくことが、必要不可欠である。

私は「農業は、国の礎、安全・安心な食料供給は国家の責任」を基本に、皆様方の代表としてわが国の農業・農村・JAグループの発展のため全力を挙げて取り組む。



全国農業協同組合中央会（JA全中）
前専務理事
山田としお

ガンバッテいます



野中 育代さん
JA県女性協副会長



JAと高齢者の集いの一コマ

学部活動に専念し始めた。

しかし、一つの事柄を行うにしても、なかなか協力が得られず苦難の連続で、試行錯誤の毎日だった。野中さんにとっては下積み時代でもあった。

現在、JAあまくさ女性部としてはミニバレー大会、ゲートボール大会から子供向けの食育教育、地産地消の店舗運動、食の伝承味の交換会、花一杯運動など、多種多様な活動を行っている。

●「ハイヤ踊り」にも出演

「ボーッしているのが大好き」と云われる野中さんだが、趣味は多い。

畑・ミカン栽培の傍らお茶、大正琴、フラダンス、手芸など。

特に、フラダンスを始めて三年になるが、背筋がスッキリして若くなったとか。また、数年前までは「牛深ハイヤ踊り」に出て、町中を踊りまくっていた。

●今後の抱負

平成四年、「JAあまくさ」が誕生後、女性部長となり、現在、県女性協副会長として大活躍中である。

今後の抱負として、「『名だけの部員』でなく、学習・勉強会を通じ活力ある組織をめざした意識改革を行ってきたい」と云われる。

また、座右の銘としては「初心忘れるべからず」と、若々しくチャレンジ精神旺盛な野中さんである。



高濱 友章さん
県青壮年部委員長



経営規模は温州ミカン2畝、中晩柑2畝を経営する。

●素晴らしい立地

宇城市三角町の不知火海を臨む素晴らしい立地に、高濱さんのみかん畑は広がる。

不知火地区は、西南向きで、海に面しているので潮風をたつぷり浴びて栽培できる好立地なので、とても果樹栽培には適している。

高濱さんは、九州東海大学農学部を卒業後、青年海外協力隊としてネパールへ二年間みかん栽培に行った経歴を持つ。二十五歳で就農して、着実に経営を維持してきた。

●妻に感謝

高濱さんはこの二年間、家の経営をやるかたわら県の青壮年部委員長を勤めてきた。やはり家族、特に奥さんには相当な苦労があったようだ。

「この二年間、経営のことは妻にまかせきりでした。もちろん自分もするけど、私が青壮年部の活動で家を空けるときは妻

に頼むと、二人でやってってくれるんです。」奥さんは結婚してから農業についての技術と知識は学んだ。今では、ほとんど一人でできるようになった。

「最初は苦労したと思います。普段はなかなか言えないんですが、特にこの二年間は本当に感謝してます。おかげで青壮年部委員長をなんとかやってこれた。」と照れながら話す。

●可能性を広げていく

今年にはミカンの不作で価格が高騰し経営的にはよかったが、高濱さんは少しも現状に安心はしていない。

「目先のことだけでなく、五年後、十年後のことを考えているんなことを試していかなければならない。そのためには、単価の安定化を望みたい。単価が安定であれば、収入がわかる。収入がわかると翌年にかかる費用の計算ができる。またJAには多方面での販売をして欲しい。加工食品の充美化や、例えばネットでの販売など、簡単にはできないと思うが、どんなチャレンジしてもらって可能性を広げてもらいたい。」

●わが子の就農目指して

高濱さんは今度の青壮年部総会で委員長の役目を終わられる。

「私にも二人の子供がいますが、やはり子供たちが農業という職に憧れる農業経営をしていきたい。夢と希望を持てるような魅力的な職業になるように、これから違う立場で、活動をしていきます。」

●団塊世代生まれ

一般的には「団塊世代」とは、昭和二十二年から二十四年の三年間に生まれた人口集団を云うが、正に野中さんはこの世代、二十二年十月生まれの人である。

一学級が五十名、十数クラスとかの超過密教育を受け、受験地獄をも経験した方である。おまけに、学校卒業後、社会に出るとともに高度経済成長を支え、成熟世代を迎えた女性でもある。

●四十二才で女性部に入部

野中さんは、四十二才で女性部に入部した。

当時、インゲン施設栽培をしており農協との係わりはあった。しかし、女性部活動は活発でなく、加入増進運動中でもあり、これを契機に入部し、女

総支部だより 玉名地区



環境美化運動(風船配布の光景)

県下には、十一農政連総支部がありこの活動状況を、毎月順次紹介します。今回は、玉名地区農政連総支部(田尻隆弘総支部長・JAたまな普通作部会長、関幸次郎事務局長・JAたまな組織改革総合企画室長)を紹介します。

玉名地区総支部管内は、熊本県の北西部に位置し、福岡県に隣接する東西二十km、南北三十km、約四二〇平方キロメートルの広大な地域です。地形的には、有明海に面した平坦水田地域、金峰山、小岱山の山麓地域及び山地丘陵の中間地域に大別され、総耕地面積は一一〇平方キロメートル余です。当地域の中央には、阿蘇外輪山を水源とする菊池川が南北に貫流し、この地域を中心とした水田地域では水稻を基幹作物として、トマト、イチゴ等

の施設園芸が盛んであり、山麓地帯及び中間地帯ではミカン梨等の果樹、野菜、米、畜産等を組み合わせた複合経営が行われています。このような恵まれた環境の中で、農業・農村を取り巻く情勢は農業従事者の高齢化・担い手不足や農産物価格の低迷による農業所得の減少、度重なる自然災害などで農業生産額は減少、さらには原油価格の高騰など、当地域においても、厳しさを増しています。当総支部は、地域の発展を図るため、次のとおり組織体制を整え、各種農政活動を展開しています。

主な組合員組織

組織名	構成員数(人)
JAたまな青壮年部	327
JAたまな女性部	2441
JAたまなフレッシュミズ部	86
JAたまな助け合いの会	15
普通作部会	3782
柑橘部会	867
梨部会	194
栗部会	771
イチゴ専門部会	374
トマト専門部会	190
ミニトマト専門部会	143
タケノコ専門部会	1095
小物野菜専門部会	422

玉名地区総支部の概要と活動状況

- 農政連総支部盟友数 10,861戸
正組合員加入率 (正組合員戸数 12,131戸 加入率 89.5%)
- JA数と支部数 (1) JAたまな・JA大浜
- 総支部役員構成 (1) 総支部長 1名 (2) 副支部長 3名 (3) 委員 31名 (総支部長、副支部長を含む) (内訳) ①顧問7名(常勤理事、会長) ②支部代表11名 ③青壮年部代表3名 ④女性部代表3名 ⑤生産部会代表5名(稲作、園芸、果樹、畜産、酪農) ⑥職員代表2名
- 支部組織の概要 (1) 支部の役員構成 JA役員、総代、青壮年部、女性部、生産者代表 15名~25名
- 事務局 (1) 総支部:組織改革総合企画室 (2) 支部:総合支所長
- 会費 年会費 1,000円
- 活動状況(主事業) (1) 農政連委員会(年4~5回) (2) 総支部通常総会 (3) WTO・基本農政確立全国代表者集会への参加 (4) 支部長研修(県外の先進地視察等) (5) 環境美化運動 ①農村環境美化ポスターコンクールの実施 ②空き缶・ビン投げ捨て防止運動の実施 (6) 農と食のふれあいフォーラム (7) 農政懇談会 ①国政報告会(衆議院議員) ②県政報告会 ③農政報告会(三浦参議)

●お世話するのは私たちです
●玉名地区農政連総支部の事務局は、JAたまな組織改革総合企画室が担当しています。
※室長 関 幸次郎
課長 木下 正晴
※電話(0968)72-5563



J A 中央会

中央会・各連が臨時総会

事業計画を承認

J A 熊本中央会、信連、経済連、厚生連（株）熊本アグリシステムは三月二十八日、熊本市でそれぞれ臨時総会・株主総会を開き、二〇〇七年度事業計画などを承認した。

また、七月の参議院選挙で「農業者およびJ Aグループ役員が心を一つに、地方区は三浦一水氏の三選と、比例区では山田としお氏の当選に向け、農水・林政運動組織と連携し、最大限の農政意思結集に向けた取り組みを強力に展開していく」との特別決議を採択した。

事業計画は次のとおり

【中央会】基本的課題として①農政課題への対応②第二十二回J A熊本県大会決議事項の着実な実践③J Aグループ共通農業戦略の実践④万全なJ A経営の確立⑤規制改革への対応を挙げた。

【信連】〇九年一月の農林中金との最終統合へ向け、組織整備の実践と最終統合に向けた業務遂行、内部管理の充実などを掲げた。

【経済連】①生産基盤の再構築②販売事業改革の実践とくまもと農畜産物の安定・有利販売③生産資源コスト低減に向けた低コスト資材の開発・普及拡大等の取り組み④拠点型事業等の

収支改善と競争力強化に向けた事業運営体制の再構築⑤経済連グループの組織・事業改革に取り組み。初年度として、販売事業で九百六十七億円、購買事業で六百八十六億円、全体で一千六百八十一億円の取扱高を計上し、経常利益三億九千八百万円を見込んだ。

【厚生連】①新たなJ A健康管理活動の推進②信頼される検診活動と質の高いサービスの提供③事業推進体制の確立と経営基盤の強化を基本に取り組み。

地域農業の

担い手として期待

農業インターン事業修了式

J A熊本中央会・連合会営農生活センターは三月二十七日、地域農業の担い手を育成する熊本県J A農業インターン事業の研修終了式を熊本市で行った。式には、受け入れ農業者や研修生、J A、市町村から関係者ら三十五人が出席した。

同事業は、担い手育成対策の一環として、就農希望者に対し十ヶ月間の実践的な農業研修を行い、担い手となる人材を育成・確保するもので今年で二回目。今年度は十一人が研修を終了し、十人が四月から農業に取り組み。

澤村成昭中央会副会長が「初心を忘れず、地域農業の担い手として大きく羽ばたかれることを願う」と激励した。

J A 経済連

春夏瓜類・春野菜出荷大会

経済連は三月十三日、熊本市内で平成十九年産春夏瓜類・春野菜出荷大会と豊作祈願祭を開き、ほぼ前年並みの販売目標金額二九〇億円（春夏瓜類一二〇億円、春野菜一七〇億円）の達成を誓った。

大会には県、県内J Aグループ、市場関係者ら約三〇〇人が出席。同経済連の松村秀一会長が「多元化した流通チャネルの多様なニーズを消費地と共有化し、産地連携による安定供給体制を構築していくことが重要である。販売活動については、消費拡大協議会と連携し、十九年度から一般消費者向けの新たな規格で統一ブランド「よかくまさん」をアピールしながら、県産青果物のイメージアップを図っていききたい」と力を込めた。

平成十九年産の生産計画（三ヶ月）は春夏瓜類の作付面積が一五三六・三畝（前年対比九十四％）、出荷量が四万六九一五・七ト（同九十五％）となっている。春野菜の作付面積は二〇六六・四畝（同一〇二％）、出荷量は五万六六一六・一ト（同一〇〇％）となっている。

同経済連によると、「瓜類、野菜とも好天に恵まれ、気温も高めで推

移したことで順調な生育経過をみている。瓜類では、初期成育から高配にかけては順調で、果実肥大も良好である。また春野菜については、主力品目のトマト類のなかでミニトマト、中玉トマトが増加している。またタマネギ、馬鈴薯、アスパラガスは近年作付面積の増加がみられる」という。

大会では生産・販売の取り組みで「安全・安心な信頼される商品づくりの徹底」「多元化する顧客対応への安定供給」「多様なニーズに応えるための産地・消費地情報の共有化」「統一ブランド『よかくまさん』のアピールによる販売活動の強化」の四つの基本方針が報告された。

出荷のピークは四月中旬から五月中旬。関東・関西を中心に全国に出荷する。



販売目標金額290億円を誓った出荷大会

JA 渉外担当者研究大会開催

「満点運動」表彰式

去る三月十六日（金）にウエルシティ（熊本厚生年金会館）にて「JA 渉外担当者研究大会」が開催され、県下JAより約四十名の渉外担当者が参加した。

大会では、「渉外担当者「満点運動」要領」に基づき、総合部門とローン・住宅ローン・定期貯金・定期積金・年金の部門毎に表彰が行われた。表彰対象は部門毎に基準値が設定されており、総合部門においては、基準値を上回ったJAあしきたの宮脇清美

美さんが表彰された。

表彰の後、昨年7月に行われた「全国渉外担当者交流大会」に参加したJA熊本市の有田俊史さんが大会の様子や感じた事等について発表した。次に「平成十九年度JAバンク熊本重点実践事項」について説明が行われ、その中で平成十九年度は、うちよ銀行の誕生や地元地銀の再編で、県内金融機関を取り巻く環境は更に激化していくことが予想され、渉外担当者は重要なポジションである事が再認識された。今後ともお客様に満足いただける渉外担当者となつて頂きたい。

平成18年度「満点運動」表彰者名簿

部門	順位	農協名	氏名
総合部門	1	あしきた	宮脇清美
ローン部門	1	上益城	飯開美恵子
	2	上益城	角久美子
	3	上益城	田上聖雄
住宅ローン部門	1	熊本市	馬原優一
	2	熊本市	上田太一
定期貯金部門	1	熊本市	緒方志泰
	2	本渡五和	井上義正
	3	上益城	高沢登
定期積金部門	1	熊本市	緒方志泰
	2	上益城	高沢登
	3	上益城	石橋堅信
年金部門	1	あしきた	宮脇清美
	2	あしきた	桑原祐一
	3	あしきた	高橋和江



体験発表を行う
JA熊本市 有田俊史さん



表彰を受けるJAあしきた 宮脇清美さん

「交通安全反射たすき」2万本を贈呈

「防げ！夜間の歩行者交通事故」

去る三月二十日（火）、菊池郡菊陽町の熊本県交通安全協会において、「交通安全反射たすき」の贈呈式が開催された。

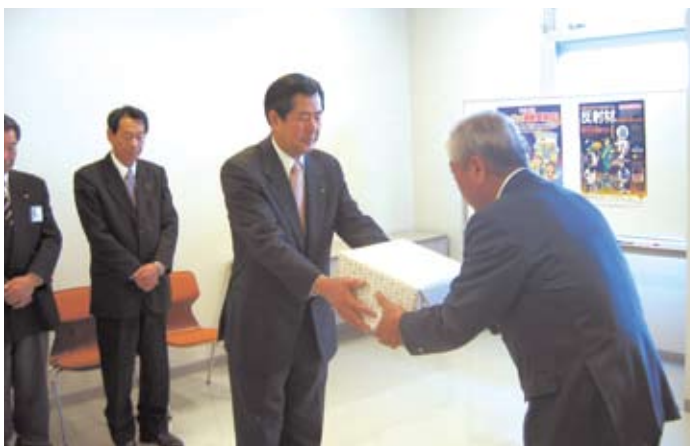
贈呈式は、JA共済連熊本の桑野本部長の挨拶に続き、熊本県交通安全協会の石本専務理事へ桑野本部長より目録とたすきの一部が贈呈された。

この「交通安全反射たすき」の寄贈は、県内の歩行者死亡事故の六十五%が夜間に発生していることから、夜間歩行者の交通事故防止に効果の高い「交通安全反射たすき」を二万本製作し、熊本県交通安全協会へ寄贈することとなりました。

また現在、熊本県交通安全推進連盟が「ひのくにピカピカ運動」を展開中であり、JA共済連熊本も同連盟の一員として、この運動に連携し交通安全運動を推進しています。

JA共済連熊本では、これまで交通事故対策活動として、救急自動車や交通安全指導車の寄贈、カーブミラーの設置などを行ってきたが、その一環として今回の「交通安全反射たすき」の寄贈を実施しました。

今回寄贈した「交通安全反射たすき」



交通安全反射たすきを寄贈する桑野本部長

は、各地区（県内二十三地区）の交通安全協会を通じ、主に県内の高齢者や小中学生に配布し、夜間歩行者の交通事故防止に役立てていただくこととしています。

JA共済連熊本では、今後も交通安全思想を幅広く社会に訴えていくことを目的として、さらなる努力を続けていきます。

- 参議選の取り組み状況
- 農政連総支部だより：鹿本総支部
- ガンバッテいます：山内英二さん
：荒木孝子さん
- 中央会・連合会からのお知らせ

あとがき

- 四月は花がひらき、青葉、若葉が目に見え、鮮やかな美しい季節である。田園には蒼々とした生育した麦の穂が広がり穂先が爽やかな春風に揺らめいてのどかな情景が心地よい。
 - 「みどりの風」も衣替えしてから、二回目の発行となる。まだ紙面づくりも、軌道に乗ったとは言えない状況であり、盟友各位の御協力をいただき、今後より一層紙面の充実図っていきたい。
 - 盟友の皆様のご意見や、周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。
- ☆お願い
「みどりの風」は、発刊スタートして二〇八回。毎月十一万五千部発行し、盟友の皆様へ配布しています。今後とも内容を一層充実するため、皆様からの情報・記事等の提供・連絡をお願いします。
- 連絡先 熊本県農政連
電話 096-1328-11284
FAX 096-1326-158007



わたしが、あなたの力になる。
あなたが、だれかの力になる。

笑顔に満ちあふれた毎日は、
確かな安心があってこそ。
私たちJA共済は、
ひと一人ひとりの健康サービスのご提供をおし、
みなさま一人ひとりにあった「安心」をお届けします。
わたしたちからあなたへ、
あなたから次の世代へつなげる強い絆を大切に、
みんなで助け合って生まれる確かな「安心」を、
これからも育んでいきたいと思えます。

JA共済
しあわせくらぶ

07481050060



「自分の夢は、自分で叶えたい。」
光る風の中で、あなたは笑った。

ただ、ひた向きに、思い描く未来のために、
JAの定期積金「夢咲町」は、夢を追う女性を
サポートするための女性限定レディスプランです。
福岡・大分・佐賀・熊本・沖縄の
各県でご用意した様々なオリジナル特典で、
自分の夢のために頑張るあなたを応援します。

Illustration: 鶴田一郎
comachi



元気!!
熊本の自然の味を伝えたい。
ジュース!

2007 ジュース愛飲運動

熊本県JAジュース愛飲運動推進本部



熊本の「牛肉」と「旬の野菜」を使った
アイデア料理レシピ募集中

【応募規定】●熊本産の「牛肉」《「黒毛和牛」または「赤牛」等》と「旬の野菜」《「アスパラ」「ナス」「タマネギ」「ピーマン」「ゴーヤ」の中から一品以上お選び下さい》を使用したキリンビールに合う手軽に作れる自慢のアイデア料理を募集します。●所定の応募用紙に料理のタイトル、料理の写真、材料（4人分）、作り方、住所、お名前等を御記入のうえ、ご応募下さい。●料理の所要時間は、1時間●材料費は4人分3,000円以内（牛肉はバラ・モモ・カタをお使い下さい）一般家庭で、誰でも作れる料理とします。
【応募資格】●性別問わず、年齢20歳以上の方。●二次の実技審査に参加可能な方。
【選考方法】●一次審査は書類選考とし、審査通過の方には、お電話にてご連絡させていただきます。●二次審査（実技、試食）で各賞を選出し、賞品を進呈。さらに、二次審査の参加者にキリンビールとJAグループ熊本から賞品をプレゼント。※お一人何点でも応募可能。
【応募方法】所定の応募用紙に必要事項を明記し、作品の完成写真を貼付のうえ、「アイデア料理コンテスト」事務局宛にご応募下さい。
【締切日】5月21日（月）※当日消印有効
【二次審査日程】●平成19年6月9日（土）11時～14時●会場／西部ガスクッキングスタジオ（熊本市安政町）

応募先 〒860-0842 熊本市南千反畑町2番3号
JA熊本中央会 農政広報部「アイデア料理コンテスト」事務局行

※尚、応募用紙は、各JAに用意しているほかJA熊本中央会ホームページよりダウンロードできます。
<http://www.ja-kumamoto.or.jp/> コンテストの詳細も、こちらでご確認下さい。